

2015年(平成27年)12月11日 金曜日 (4)



空輸利用の展望解説

名古屋中小振興会
中小振興会 ドローン活用講座開く

名古屋中小振興会(事務局名古屋千種区吹上、電話052・735・0667)はこのほど、名古屋市千種区の名古屋中小企業

ドローンの装置について解説する富田キャリア技研社長(左)

振興会館4階第7会議室で、ドローンの利活用を展望するセミナー「新マーケット展望シリーズ・ドローンによる空輸への適用と課題」を開催した。キャリアオ技研(名古屋市中村区)の富田茂社長が講師を務め、

ドローンの活用策や将来性、課題などを説明した。

当日は、振興会会員の中企業経営者や市民ら約50人が参加した。富田氏は、ドローンの将来性が有望な要因について、カメラの小型化や炭素繊維強化プラスチック(CFRP)の普及、モーターの小型化などが進んだことを指摘。「バッテリーはまだ高価だが、普及する環境は整った」と分析した。

その上で「例えば、どのように安全に開発した包丁でも、使う人の意思次第で凶器になりうる」とモデル

の重要性も強調。さらに、将来のコンピューター利用設計システム(CAD)を活用した3次元飛行の可能性、遠隔地搬送や火災消火などの用途拡大の展望について語った。

また、ドローンにマシンガンを装着した動画については「映像処理の動画で、現段階では非現実的」と語った。一方、「航空機エンジンに鳥が影響を及ぼすバードストライクのように、

重いドローンは、予期せぬ衝突に注意しなければならぬ」と安全な使用を呼びかけた。